

2017年度 日系社会次世代育成研修

～大学生招へいプログラム～

宮部マルコス武志

2017年度日系社会次世代育成研修 - 大学生招へいプログラム - は私にとってかけがえのない経験でした。大学生として、そして日系コミュニティに所属している私は、日本を初訪問と日系コミュニティの活性化における新たなアイデアを得る機会だと考え、この研修に挑みました。

約、一ヶ月間の研修は非常によく計画されていまして、四大学、東日本大震災の震災地や日産自動車横浜工場に見学することが出来ました。また、横浜市と東京都の魅力的な観光スポットを訪ねることも出来ました。

研修中で様々な講義を受けたり、研修員の皆さんや日本の大学生の皆さんと話し合ったり、日系人のアイデンティティの大切さにつなぐことが出来ました。横浜国立大学にて、私たちはたくさんの大学生と話し合う機会がありまして、彼らはキャンパスツアーと街の観光スポットに連れて行ってもらいました。大学研修で横浜国立大学生と研修員との交流で、文化、教育やジェンダーをテーマとしてディスカッションする機会があつて、また、グループで研修員のみなさんが用意していたプレゼンテーションを大学の皆さんに発表する機会もありました。大学生と研修員とのアイデアの交流は慶応義塾大学の大学生の皆さんと、もう一度、行いました。大学生と研修員との交流はとても良い経験になりました。

大学個別研修では、現在、属している大学で同じ分野の研究を、東京農業大学（農大）の植物分野植物遺伝子工学研究室に見学することができまして、実験もやらせていただきました。とても親切で素晴らしい教授たちと大学院生たちに会いました。

東日本大震災の震災地の復興を見学に行った時、個人的に、研修全体で一番刺激が得られた時でした。震災を経験した住民の前向きな姿を見て、とても感動しました。震災地の市役職員の役割や、大震災の経験者の話を聞き、また、

コミュニティのリーダーと話す機会もありました。岩沼市を訪れ、まちづくりや震災対策の事を学び、復興のシンボル、千年希望の丘に行く事にもなりました。また、南三陸町で研修員と高齢者の皆さんとの体験学習でエコ平板を作ることができて、とても良い体験になりました。

日系社会次世代育成研修 - 大学生招へいプログラム - で新しい友達が出来て、ひとり、ひとり、非常に大切にしています。同胞の研修員やラテンアメリカの研修員、また、この研修の担当者たちに会えて、日々楽しい時間を過ごし、たくさんの事を学び、そして、たくさんのアイデアを交流して、日系コミュニティの活性化につながるために貢献できるようになりたいと思いました。

このような機会を与えてくれまして、独立行政法人国際協力機構（JICA）に心より感謝申し上げます。

最後に、日系社会次世代育成研修 - 大学生招へいプログラム - は日系コミュニティの活性化に力を尽くしたい者、また、自分の日系人のアイデンティティを深く理解したい者にはとても良い機会だと思っています。

